

揖斐県立自然公園

四季の折々の美しい風景
 「三周ヶ岳」と澄み渡った池「夜叉ヶ池」



山間に満々と水をたたえる夜叉ヶ池

「岐阜署」滋賀・福井の県境までは、揖斐川源流の山とよばれ、三周ヶ岳（二二九二メートル）はその最も奥深いところに位置している。視界が良ければ北アルプスの槍ヶ岳まで見渡すことができ、大展望を楽しめます。

「夜叉ヶ池」は、岐阜県と福井県の県境、標高一〇九九メートルに位置し、ブナの原生林に守られながら、静かに満々と水をたたえています。別名を「雨乞の池」ともいい、その昔、干ばつに苦しめられたある村の娘・夜叉姫が雨乞のため、池に身を投げて村を救ったという伝説があります。

春には木々の若葉や草花、秋には燃えるような紅葉に彩られ、四季折々の変化を見せてくれます。

夜叉ヶ池周辺一帯は、国内希少野生動物種のヤシヤゲンゴロウ、日本海側特有のブナ林等が見られることから、保護林を設け、保護・保全しています。設定された保護林を連結することで、国指定特別天然記念物のニホンカモシカ等の動物やその他の動植物の移動経路を確保し、個体群の交流を促進することにより、種の保全や遺伝的な多様性の確保を進め、より広範囲で効率的な森林生態系の保護・保全を図ることを目的に、「越美山地・緑の画廊」を設定しています。

特に、夜叉ヶ池にしか生息しないヤシヤゲンゴロウの繁殖や生息環境を保全するため、夜叉ヶ池を含む周辺の森林一六

鈔を「夜叉ヶ池水生昆虫生息地保護林」に指定し、適切な保全に努めています。三周ヶ岳・夜叉ヶ池等へは、登山口より最初沢に下り、それから登り下りの繰り返し、その後、急な登りとなりますが、ブナ林に入る頃には平坦な道になります。一時間余りで夜叉壁が見えはじめ、幽玄の滝、昇龍の滝を見ながらさらに急な登りが続き、登りきると夜叉ヶ池が見えてきます。



夜叉ヶ池より南方面の登山道（三国ヶ岳方面）



三周ヶ岳の頂上



黒壁の夜叉壁

◆アクセス
 名神高速大垣ICから揖斐川町坂内に入り、川上林道を経由して3キロ、約1時間40分。